

平成19年3月27日

久留米市長 江藤守國様

久留米市田主丸地域審議会
会長 別府哲英

新市建設計画及び地域振興基金に関する今後の事業の進捗について（答申）（案）

平成18年5月9日付け18田地第39号で諮問のあった「新市建設計画及び地域振興基金に関する今後の事業の進捗」について、当審議会において慎重に審議した結果、下記のとおり答申します。

記

■ 新市建設計画に関すること

- 1 主要事業については、概ね着実に進捗しています。合併時の約束事業として住民の期待も大きいので、さらに一層の計画的な事業推進を図られたい。
- 2 付帯意見
 - (1) 耳納山麓自然と歴史の森公園整備事業（第1期・第2期事業）
古墳前方部分の発掘調査に際し、調査を実施した場合は、その結果を広く外部に公表されたい。
 - (2) 水縄小学校校舎改築事業
水縄小学校校舎改築事業については、工期の延伸により卒業式後の完成となることは遺憾である。今後の校舎改築に当っては、適切な工事の進捗管理に努められたい。
 - (3) 田主丸総合支所庁舎建設事業
田主丸総合支所庁舎建設事業が機能や規模の検討結果から、地域保健センターや地域子育て支援センターなどを含んだ複合施設として建設されることは望ましいことである。健康づくりや子育てなどの機能は、今後のまちづくりを進める上で重要な機能となってくるので、早期建設に向けた取り組みを進められたい。

■ 地域振興基金に関すること

- (1) みのうの里コミュニティづくり事業は、市からの指導や助言など十分な支援体制のもとに、今後、それぞれの校区が取り組みやすいような措置を講じられたい。
- (2) みのう芸術の里づくり事業は、みのうの里に文化芸術の一層の振興を図る事業であることは望ましいことであるが、一過性の事業ではなく文化の香りの高い継続的な事業として展開されたい。
- (3) 地域振興基金は、宣伝力強化事業や巨峰開植50周年記念事業、特産情報発信事業など、地域振興や観光振興に寄与する事業を中心に投入されたい。

平成19年3月27日

久留米市長 江藤守國様

久留米市田主丸地域審議会
会長 別府哲英

田主丸区域の振興に関することについて（提言）（案）

地域審議会の設置に関する協議書第3条第2項の規定に基づき、田主丸区域の振興に関することについて、下記のとおり提言します。

記

■ 平成18年度事業に関すること

- 1 そよ風ホールは、風光明媚な環境の中で多彩な催しが開催され、多くの人々が集う施設であるが、食事などの憩い機能や特産品紹介などの交流機能に欠けています。今後、それら機能の整備も検討し、文化・芸術のイベントと観光振興の事業が相乗的な効果を生み出すような施策の推進に取り組まれない。
- 2 合併協議を十分尊重し、事業進捗に取り組まれない。

■ 主要事業の見直しに関すること

今回の主要事業の見直しは、快適な生活環境の基礎的基盤であり、かつ住民の早期整備への期待度も高い下水道整備事業の財源確保を図り、計画的推進を実施するためのものであり、やむを得ない措置であると考えます。しかしながら合併後わずか2年が経過した中で、新市建設計画に描かれた田主丸区域の将来の夢や発展を展望した事業が大幅に縮小され、あるいは見送られることは、着実に進みつつある住民の信頼性や一体感の醸成に水を差すことにならないか懸念いたします。

ついては、見直し後の計画については先送りすることなく早期に実現され、主要事業が確実に進んでいるという姿を住民に示していただくことを強く提言します。

特に、以下に掲げる事業については重点的に取り組まれるよう提言します。

（1） かつぱロード～巨瀬川堤防整備事業（三丁目交差点南延伸道路整備促進事業）について

三丁目交差点から県道・甘木～田主丸線を南に延伸させ、かつぱロードに連結する道路の整備計画については、耳納山麓のフルーツ観光や山苞の道に連携する道路として、観光振興や地域振興の面から大きな期待が寄せられているものであり、今後、国・県に対し積極的な整備要望活動を行うなど早期実現に向けた取り組みを進められたい。

(2) 新駅の駅前広場整備事業について

新駅が計画されている浮羽高校付近は、浮羽高校と浮羽東高校との統合により浮羽究真館高校として生徒数が増加し、また本年1月にはダイハツ工業株式会社の吉本工業団地進出が決定するなど、将来にわたって人と物の集積が予想される地域であり、新駅の設置は地域経済に大きな浮揚効果をもたらすものとして期待される場所である。このような情勢の変化を受け、新駅の早期設置に向けた取り組みを進められたい。

(3) かつば駅南側乗降口整備事業について

かつば駅南側乗降口整備事業については、駅南地区が人口増加し続けている地域であり、また今後の新幹線の開通等に伴って、定住人口の増加を図るためにも駅南乗降口の整備が是非とも必要であり、JRと十分協議しながら早期実現に向けた取り組みを進められたい。

(4) アクセス道路の整備促進について

当初計画していたアクセス道路（浮羽バイパス～高木区北、高木区県道～唐島区県道、筒井区県道～片の瀬出張所筑後川堤防）が平成26年度までの実施が時間的に困難なことから、筑後川堤防道路の拡張計画へと変更になったことは理解できるが、計画されている両筑橋から八幡までの2km区間だけでなく、西側の片の瀬橋から大城橋までの区間についても拡張計画を進められたい。